

様式2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 倉吉東高等学校

| | | | |
|------|------|-----|------------|
| 重点項目 | 英語教育 | 提出日 | 平成31年4月25日 |
|------|------|-----|------------|

| | |
|---|--|
| 1 学校目標 | |
| 「倉吉東高のかたち」の理想に沿った様々な教育活動を充実発展させるとともに、主体的な学習者・21世紀の日本を支え、世界をリードする高い志を持った人材の育成を目指す。 | |
| 2 重点項目に係る目標・成果 | |
| 目標 | 成果 |
| <p>大学入試改革に向けて先進的な取り組みを研究するとともに、科学的根拠に基づいた英語教育法の実践研究を行い、授業改革を推し進める。</p> <p>特色ある取り組みを実施し、意欲ある生徒の英語力を更に伸ばす取り組みを組織的に行う。</p> <p><数値目標></p> <p>進研模試英語目標偏差値</p> <p>1年 7月 58 11月 59 1月 60</p> <p>2年 7月 60 11月 59 1月 59 2月マーク 59</p> <p>3年 6月マーク 57 7月記述 56 9月マーク 55 11月記述 55、マーク 56</p> <p>GTEC学年平均点</p> <p>1年 480、2年 520</p> | <p>各学年とも目標を下回る結果となった。ただ、1・2年においては回を追うごとに数値自体は上昇しており、2・3年においては過去3か年で最も高い数値となった回もある。以上の結果により一定の成果があったと考えられる。</p> <p><数値結果></p> <p>進研模試英語目標偏差値</p> <p>1年 7月 50.9 11月 52.1 1月 53.2</p> <p>2年 7月 56.3 11月 56.1 1月 57.5 2月マーク 56.9</p> <p>3年 6月マーク 55.8 7月記述 54.7 9月マーク 53.2 11月記述 52.9、マーク 53.0</p> <p>GTEC学年平均点</p> <p>1年 439.5、2年 501.2</p> |
| 3 実施事業 | |
| <p>【高等学校課事業】</p> <p>■鳥取県版キャリア教育推進事業 海外勤務者講演会ではAGC株式会社法務部長の小林純一氏の講演。</p> <p>■土曜授業等実施事業 大山サントリー工場の見学や浦富ジオパークでの現地研修。</p> <p>■21世紀型能力を育むための講師派遣事業 石川慎一郎教授（神戸大学）による師範授業や研究授業の講評をしていただいた。</p> <p>【独自事業】</p> <p>■プレゼンテーションコンテスト ■国際高校生フォーラム 「これからの時代の「仕事」について、英語による発表原稿やサマリーの作成。 韓国安養高校、シンガポールセントジョセフ高校の英語によるプレゼンテーションを聞いた。</p> <p>■教科指導力向上事業 ■アクティブラーニングに係わる研修 石川慎一郎教授（神戸大学）による、アクティブラーニング授業の講演をしていただいた。</p> <p>■海外研修旅行 2年生が台湾研修を実施し、海外の文化と触れ合った。</p> | |

■学校間交流活動

韓国安養高校、シンガポールセントジョセフ高校の生徒と県内の施設赤内やレセプションの場で交流を行った。

■グローバル人材育成事業 ■倉東 English Day

1年生全員が「自分の夢」について300語で表現するエッセイを作成した。その中で、優秀作品12名の生徒が代表で発表し、ALTの先生に講評してもらった。

■世界で活躍するプロフェッショナルによるミニレクチャー

鳥取環境大学のMark Giardine氏に「Imagine the Possibilities」という演題で御講演いただいた。

4 総合所見（成果・評価）

海外勤務者講演会ではAGC株式会社法務部長の小林純一氏にお越しいただき、海外勤務の実態やグローバル化された社会を生きる上で必要な資質についてとは講演していただいた。その中で国際的視野が広がり、高校時代に身につけるべき英語力について実感した生徒が多数見られた。また、プレゼンテーションコンテストや高校生国際フォーラム、倉東 English Day におけるスピーチコンテストにおいては、生徒が自分の意見や思いを英語で発言することにより、英語でのプレゼン力や表現力が向上した。

神戸大学石川慎一郎教授による師範授業や講義、演習をとおして、大学が高校生に求める英語力やその力をつける授業について学び、教員の授業改善や指導力向上につながった。

※枚数任意